

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道防災課
担当課長名：下保 修

事業名 一般国道54号 <small>みとや</small> 三刀屋拡幅	事業区分 一般国道 (2次改築)	事業主体 中国地方整備局
起終点 自：島根県雲南市三刀屋町三刀屋 至：島根県雲南市木次町里方		延長 4.1km
事業概要 一般国道54号は、広島市を起点に三次市を経由し、松江市に至る総延長約170kmの主要幹線道路である。三刀屋拡幅は、三刀屋町周辺の円滑な交通と交通安全の確保を図るとともに周辺の開発計画に寄与することを目的とした延長4.1kmの2車線から4車線への拡幅事業である。		
H5年度事業化 H4年度都市計画決定 H10年度用地着手 H11年度工事着手		
全体事業費 156億円 事業進捗率 42% 供用済延長 0.7km		
計画交通量 10,200~18,200 台/日		
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 1.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 86 / 166億円 (事業費: 72/149億円) (維持管理費: 14/17億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 153 / 246億円 (走行時間短縮便益: 151 / 243億円) (走行経費減少便益: -0.33/0.60億円) (交通事故減少便益: 2.0 / 2.5億円)
基準年 平成19年		
感度分析の結果 残事業(事業全体)についての感度分析を実施 交通量変動 : B/C=1.9 (1.6) (交通量+10%) B/C=1.8 (1.4) (交通量-10%) 事業費変動 : B/C=1.6 (1.4) (事業費+10%) B/C=1.9 (1.6) (事業費-10%)		
事業の効果等 ・国道54号の主要渋滞ポイント「里方交差点」の渋滞緩和(渋滞損失時間の削減) ・雲南市三刀屋町から出雲空港への所要時間短縮(空港へのアクセス向上) 他12項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 沿線の市街化による出入り交通や当該地域を通過する交通等により交通が輻輳しており、円滑な交通ならびに交通安全の確保が困難となっているため、関係市(雲南市)から強く整備を求められている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成13年3月に中国横断自動車道尾道松江線(宍道ICから松江玉造IC間)が供用し、平成16年3月に中国横断自動車道尾道松江線(三刀屋木次ICから宍道IC間)が供用した。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成16年度末時点で0.7kmについて供用済。平成18年度末時点で、用地買収については30%が完了。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後の見通しとしては、引き続き全線供用を目指し事業を進めているところである。		
施設の構造や工法の変更等 建設副産物の発生抑制や再生利用等によりコスト縮減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。